

## 4 計画の運用

士別市の公園施設は更新の時期を迎えており、周辺地域のコミュニティや憩いの場を提供するため、この計画をもとに、適宜、更新改築を実行していくこととなる。そしてさらに、継続的な維持保全をしていくことが理想であるが、様々な要因により計画とは異なる事態が想定される。そうした状況においては、計画に囚われず日常点検や定期点検により、施設の劣化状況を的確に把握したうえで、急務される公園から柔軟に対応することが必要である。加えて、改築予定となる公園施設は、事前に劣化状況の再確認や工事費の見直しを行い、地域住民の合意形成を得て更新改築を実行していくことが理想的と言え、安全・安心な公園施設の提供に繋がることとなる。

士別市の公園施設長寿命化計画において円滑に遂行するために考えられるポイントを以下に記す。

### ①公園管理台帳の管理・更新

施設の補修や更新等の履歴は、今後の計画運用において重要なバックデータとなるため、常に公園管理台帳を更新することが望ましい。

### ②点検票の管理・更新

今後は定期的な点検を行っていくことになるが、既存の点検票の履歴をもとに日常・定期点検を実施、健全度・危険度判定の更新が必要となる。

### ③長寿命化計画の運用イメージ

計画運用において、予想外の補修、もしくは更新が生じる可能性がある。その際には、予算の平準化に留意しながら適切な処置を図ることが望ましい。

これらをフロー形式に表した図を事項に添付する。

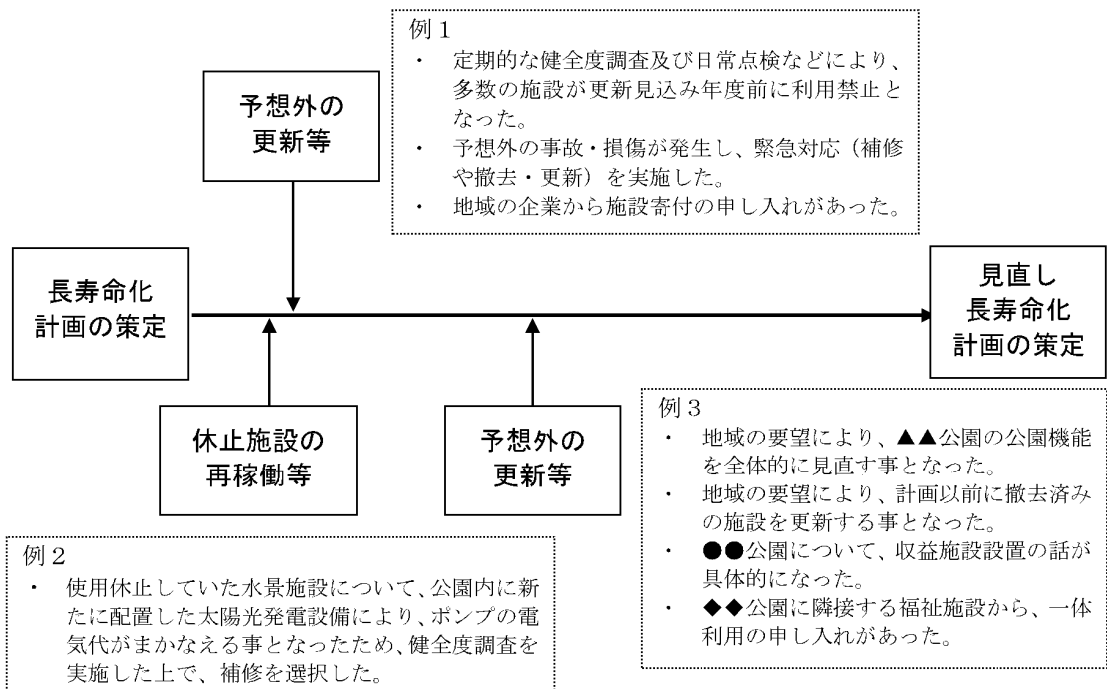


図 4-1 長寿命化計画の運用のイメージ

#### ④長寿命化計画の見直し

修繕・改築の実行は様々な要因で計画から乖離すること予想されるため、適宜長寿命化計画の見直しを実施する。また、長寿命化対策の実施内容は、実際に行った維持管理の内容を踏まえて、適宜修正・補完しながら用いていくローリング方式によることが望ましい。

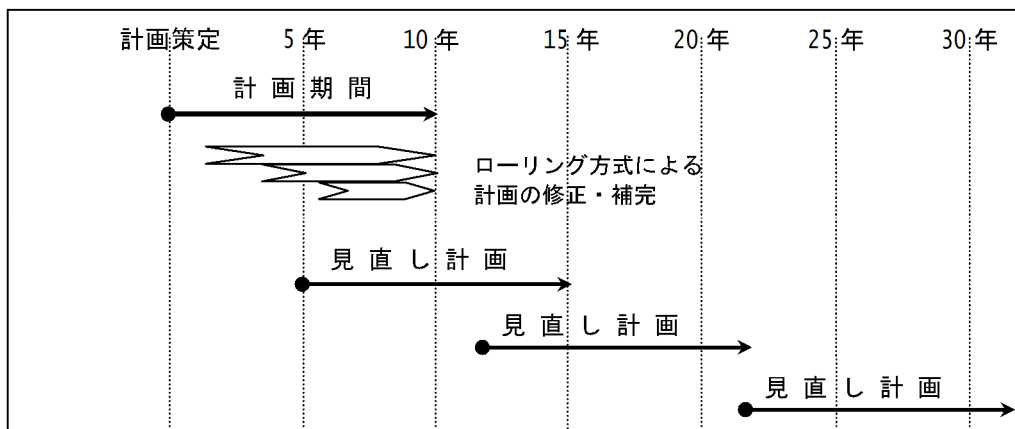


図 5-2 計画期間のイメージ